

3 平成28年度活動実績

(1) リクルート等の実績

1) リクルート開始後の対象地域の変化とリクルート(参加登録)目標数追加の経緯(表1)

福島ユニットセンターは、当初平成23年1月31日から福島市、南相馬市及び双葉郡の10市町村を対象地域として、産科医療機関を受診した妊婦とその配偶者を対象にリクルートを開始した。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により、相双地域を中心に福島県民の住環境は一変した。南相馬市の一部地域及び双葉郡は立入禁止区域となり住民は各地に避難し、リクルートを中断した。その後、対象地域は県北地域の4市町が加わり、さらに平成24年10月からは県内59全市町村が対象地域となりリクルートを行った。

リクルートは、平成26年3月31日をもって3年間のリクルートは終了した。父親のリクルートと子どもの登録は、母親が出産し1か月健診終了の同年12月まで実施した。

表1 福島ユニットセンターでの実施概要

項目	開始時	平成24年10月以降
調査対象地域	10市町村(福島市、南相馬市、双葉郡)	福島県59全市町村
協力医療機関(産科)	19医療機関	52医療機関(うち茨城県1機関)
リクルート目標人数	6,900人	15,900人(拡大9,000人追加)
リクルート期間	平成23年1月～平成26年3月(3年2か月)	平成24年10月～平成26年3月(1年半)

2) 母親、父親及び子どもの参加者数

平成28年度中に、参加者登録状況についてデータクリーニング及び確認作業を行った結果、母親のリクルート数はのべ13,131人、父親のリクルート数はのべ8,694人、子どもの出生数は12,867人となった。

子どもの参加者年齢は、平成29年3月31日現在で2歳4か月～5歳8か月であり、2歳児までを対象とした調査は終了した。

(2) 全体調査実施状況

1) 質問票調査実施状況

出産後6か月以降の質問票は、参加者の誕生月前後とその6か月後の年2回、半年ごとにコアセンターから参加者へ発送され、記入後ユニットセンターへ返送される。ユニットセンターでは回収後質問票の入力・データクリーニング作業を行う。

平成28年度は、1.5歳児から5.5歳児までの計8種類、総計25,239部の質問票を発送した。1.5歳児質問票は平成28年5月に、2歳児質問票は同年11月に全ての発送を終了し、新たに5歳児質問票が同年7月から、5.5歳児質問票が同年12月から発送を開始した。(表2)

表2 平成28年度 質問票調査発送数(平成29年3月末現在)

質問票種類	1.5歳	2歳	2.5歳	3歳	3.5歳	4歳	4.5歳	5歳	5.5歳
福島本部事務所	27	907	1,854	2,069	1,975	1,610	1,386	974	303
郡山事務所	98	2,136	4,233	4,308	2,658	575	58	48	20
計	125	3,043	6,087	6,377	4,633	2,185	1,444	1,022	323

平成29年3月31日現在の質問票回収率(表3)は、6か月質問票(発送後6か月後)96.9%であったが、年齢が上がるにつれ徐々に回収率が低下している。全国15ユニットの平均に比較すると回収率はこれまで数ポイント高い状況で推移してきたが、一時的に低くなる状況も見られるようになった。現在、質問票が発送後1か月半以上返送されない場合、返送を促す等回収率の維持に努めているが、引き続き重要な課題となっている。

表3 質問票調査実施状況(平成29年3月31日現在)

質問票種類	質問票発送数	回収数	回収率(%)	
			福島	全国平均
6か月	12,832	12,440	96.9	94.0
1歳	12,737	11,985	94.1	91.3
1.5歳	12,692	11,545	91.0	89.1
2歳	12,530	10,981	87.6	87.1
2.5歳	9,599	8,208	85.5	85.3
3歳	6,416	5,387	84.0	83.9
3.5歳	3,212	2,626	81.8	81.6
4歳	1,779	1,462	82.2	80.4
4.5歳	1,026	827	80.6	78.5
5歳	323	256	79.3	75.2

2) データの固定化に向けたデータクリーニング作業

生後6か月から1歳までの質問票調査のデータ固定化作業を実施した。

3) 疾患情報登録調査

疾患情報登録調査は、生後、子どもが特定の疾患に罹患した場合、保護者の質問票の記載の基づき、専門的な内容について診療した医療機関へ二次調査票の記入を依頼するものである。

対象疾患は、川崎病、染色体異常及び心疾患以外の先天性奇形、先天性心疾患、内分泌・代謝異常、てんかん・けいれん、小児がんである。

平成27年度から調査を開始し、県内医療機関に調査のご協力をいただいている。

4) フォローアップ状況

調査参加者が、福島ユニットセンターから他ユニットセンター対象地域に転出した場合、又は他ユニットセンターから福島県内へ転入した場合は、管轄を変更して調査を継続して実施している。また、エコチル調査対象地域外へ転出した場合は、質問票の返送先を福島ユニットセンターとして継続している。協力取りやめなどの意思が明らかでない状態で住所あて先が不明になり、電話連絡が取れなくなった調査参加者へは、参加時の同意内容に基づき住民票照会を行い、状況を把握の上連絡を試みている。

母親の妊娠中の流産、中絶、子宮内胎児死亡、出産後の子どもの死亡、住所不明等により調査継続が不可能になった場合を「調査打ち切り」、子どもは追跡可能な状況であるが代諾者（主に母親）の都合により調査協力ができなくなった場合を「協力取りやめ」としている。平成28年度の子どもの調査協力とりやめ件数は90件で、理由は多忙、質問票の回答が負担、子供・母親の健康状態、家事都合などであった。

5) フォローアップ率維持のための対応

エコチル調査終了時のフォローアップ率は80%以上を維持することを目標にしている。参加者のエコチル調査に対する思いを大切に、また、調査期間中継続して「エコチル調査に参加してよかった」、「13年間エコチル調査を続けたい」といったモチベーションを維持していただけるよう、発達段階に応じたイベント開催やニューズレターの発行などを実施している。
((7) 広報活動参照)

(3) 詳細調査

1) 詳細調査の開始

平成26年10月、コアセンターから第1次候補者リストが提供され、詳細調査のリクルートを開始した。以後、平成28年1月まで計7回にわたり候補者リストが提供され、詳細調査への協力を依頼した。

詳細調査リクルート数は、次のとおりである。

第1次抽出 94名

第2次抽出116名

第3次抽出105名

第4次抽出104名

第5次抽出101名

第6次抽出100名

第7次抽出 17名

※リクルート目標数は637名、平成28年6月にリクルートが完了した。

2) 訪問調査の実施

参加者と日程調整し、平成26年11月から1.5歳訪問調査を実施した。

平成26年11月～平成27年3月 187件

平成27年4月～平成28年3月 412件

平成28年4月～平成28年8月 38件 計637件実施(完了)

平成28年6月から3歳訪問調査を実施した。

平成28年6月～平成29年3月 372件実施

3) 精神神経発達検査(新版K式発達検査)及び医学的検査の実施

平成27年4月から2歳精神神経発達検査及び医学的検査を実施した。

精神神経発達検査 訓練を受けた検査者の面談による検査を実施

医学的検査 身体計測のほか、医師による診察や血液検査を実施

① 協力病院・施設

詳細調査の精神神経発達検査及び医学的検査を実施するため、協力医療機関・施設(表4)に協力を得て実施した。精神神経発達検査の検査会場として場所のみを借用する医療機関においては、福島ユニットセンターの職員(心理士)が出向いて検査を実施した。

表4 詳細調査協力医療機関・施設

	協力医療機関・施設	医学的検査	精神神経発達検査
1	公立藤田総合病院	○	検査会場借用
2	大原総合病院	○	
3	福島県立医科大学附属病院	○	○
4	公立相馬総合病院	○	検査会場借用
5	星総合病院	○	○
6	太田西ノ内病院	○	○
7	白河厚生総合病院	○	検査会場借用
8	竹田総合病院	○	○
9	福島県立南会津病院	○	検査会場借用
10	いわき市立総合磐城共立病院	○	
11	第二子どもの家		○
12	子どもの家保育園		○

<各協力医療機関・施設訪問>

平成28年12月～平成29年3月

2歳精神神経発達検査及び医学的検査の終了に伴い、各協力医療機関・施設を訪問し、お礼を述べるとともに4歳精神神経発達検査及び医学的検査実施上の課題について相談、平成29年4月から開始する検査に備えた。

② 2歳精神神経発達検査及び医学的検査実施件数

精神神経発達検査 平成27年4月～平成28年3月 378件実施
平成28年4月～平成29年1月 239件実施
計617件(完了)

医学的検査 平成27年4月～平成28年3月 365件実施
平成28年4月～平成29年1月 249件実施
計614件(完了)

4) 詳細調査関連会議等

① 検査担当者の情報交換会

平成28年11月 精神神経発達検査担当者間情報交換会(郡山市)
平成29年2月 医学的検査担当看護師間情報交換会(郡山市)

② 新版K式発達検査リーダー・検査者会合

平成28年7月 発達検査リーダー会合(Web)
平成28年11月 4歳新版K式発達検査の手技に関する検討会(Web)
平成29年2月 発達検査リーダー会合(東京都)

③ 詳細調査担当リサーチコーディネーター(RC)会議

平成28年4月～平成29年3月 計12回

④ 精神神経発達検査定例会

平成28年4月～平成29年2月 計9回

出席者：医学的相談責任者、発達検査リーダー、福島県立医科大学心理士、
福島県立医科大学小児科医、RC

5) 研修会・講習会・認定試験

- 平成28年5月 エコチル調査 2歳新版K式発達検査認定試験 実技(東京都)
受験者1名
- 平成28年6月 エコチル調査 新版K式発達検査(初級)講習会(京都市)
受講者1名
- 平成28年8月 エコチル調査 4歳新版K式発達検査講習会(大阪市)
受講者12名
- 平成28年12月 エコチル調査 4歳新版K式発達検査ビデオ試験(郡山市)
受験者10名
- 平成29年1～3月 エコチル調査 4歳新版K式発達検査認定試験 実技(東京都)
受験者10名
- 平成29年1月 4歳医学的検査担当者研修会(東京都)
受講者10名

6) 精神神経発達検査ボランティア児研修

① 2歳精神神経発達検査ボランティア児研修

平成28年4月～5月(会津若松市) ボランティア児3名

② 4歳精神神経発達検査ボランティア児研修

平成28年10月～平成29年1月(福島市、郡山市) ボランティア児50名

< 4歳精神神経発達検査ボランティア児研修への協力依頼 >

平成28年10月 郡山市公立保育所長会議で協力依頼

平成28年10月 郡山私立幼稚園協会事務局を訪問し協力依頼

平成28年11月 郡山私立幼稚園協会会議で協力依頼

※ ボランティア児募集にあたりチラシを作成した。チラシは郡山市公立保育所及び郡山市内の私立幼稚園を通じて、保護者に配布して周知を図り、ボランティア児の確保に努めた。

(4)地域運営協議会開催

1)開催目的

エコチル調査の円滑な遂行を図るために、行政機関及び医療機関等の委員に対し調査実績や今後の調査に関する情報発信、普及啓発を行うとともに、情報交流の推進を図った。

2)開催状況

平成28年度は、県及び地域の運営協議会を計5回開催した。(表5)

表5 地域運営協議会の開催状況

	協議会名称	開催日	開催地
1	福島県地域運営協議会	平成28年7月25日(月)	福島市
2	県北・相双地域運営協議会	平成28年11月7日(月)	福島市
3	県中・県南地域運営協議会	平成28年10月17日(月)	郡山市
4	いわき地域運営協議会	平成28年11月2日(水)	いわき市
5	会津地域運営協議会	平成28年11月11日(金)	会津若松市

3)内容

環境省及びコアセンターから、全国のエコチル調査の現状と調査にかかる情報やご意見をいただいた。本県のエコチル調査の活動状況、環境省からの年次評価、質問票集計中間結果等について報告した。参加者に13年間調査を継続してもらうための方策や調査に期待することや要望等について、委員から様々なご意見をいただくとともに、今後のご支援とご協力を依頼した。

福島県地域運営協議会(平成28年7月25日：福島市)



(5)市町村訪問

平成28年9月に、毎年実施している市町村訪問を行った。

調査開始時に対象地域であったものの、平成23年3月の原発事故により避難した南相馬市及び双葉郡の8町村を、県内各地にある仮役場などに訪問し、子どもの生活環境などを聴取するとともに、調査の推進等を依頼した。

(6)医療機関訪問

詳細調査協力機関を訪問し、2歳児医学的検査及び精神神経発達検査の終了報告及び今後実施する4歳児検査の準備に向けて意見交換を行った。

疾患情報登録調査を初めて依頼する医療機関を訪問し、調査概要等について説明した。

(7)広報活動

1) 全県イベントの実施

開催日：平成28年11月27日(日)

開催地：福島市

参加者数：221名

福島ユニットセンターでは、年に1度、子育てに役立つ講演会と親子で楽しむことが出来るコンサートを「全県イベント」として企画している。エコチル調査参加者や、県民の皆様を対象に「子育て講演会&クリスマスコンサート」を開催し、エコチル調査への理解を求めるとともに、参加者に対して継続的な参加を呼びかけた。

福島県立医科大学の講堂を会場とし講演会とコンサートの2部構成で実施し、1部においては託児を設け、福島県立医科大学の横山浩之教授による講演や、当ユニットセンター長よりエコチル調査に関する報告を行った。2部では福島県立医科大学の混声合唱団「燦」による合唱と「歌のお姉さん、ピエロ、マジシャン」によるクリスマスコンサートを開催し、参加いただいた方々に有意義な時間を過ごしていただいた。

The poster is for an event titled "エコチルふくしま 子育て講演会&クリスマスコンサート" (Eco-child Fukushima Child Rearing Lecture & Christmas Concert). It features the following information:

- 入場無料** (Free admission) with a note that it is for those who have participated in the Eco-child survey.
- 日時** (Date/Time): 2016年11月27日 (日) (November 27, 2016, Sunday). Opening at 13:00, starting at 13:30.
- 場所** (Venue): 福島県立医科大学講堂 (Fukuoka Prefectural University of Health Sciences Lecture Hall), located at 福島市光が丘1番地 (1-1-1 Hikariyama, Fukushima City). TEL: 024-547-1111.
- 申し込み方法** (Application Method): 裏面をご覧ください(事前申込必要) (Please see the back for details. Pre-application is required).
- プログラム** (Program):
 - 13:30 開会 (Opening)
 - 子育て講演会 「小学校に入るまででできて欲しいこと」 横山浩之さん (Child Rearing Lecture: "What I would like to see before starting elementary school" by Mr. Hiroshi Yokoyama)
 - エコチル調査の報告 (Eco-child survey report)
 - 14:50 (14:50)
 - クリスマスコンサート (Christmas Concert)
 - 福島県立医科大学混声合唱団「燦」 (Fukuoka Prefectural University of Health Sciences Mixed Chorus "Sakan")
 - ゆかいなクリスマスコンサート (Fun Christmas Concert)
 - 15:30 閉会 (Closing)
- 講師** (Lecturer): 横山浩之先生 (Mr. Hiroshi Yokoyama), Director of the Fukushima Eco-child Survey Center at Fukuoka Prefectural University of Health Sciences.
- 協力** (Sponsors): 福島県立医科大学 (Fukuoka Prefectural University of Health Sciences), Eco-child Survey Fukushima Unit Center, and other organizations.

<第1部>



福島県立医科大学 横山浩之 教授
演題：「小学校に入るまでにできてほしいこと」



ユニットセンター長 橋本浩一
報告：「エコチル調査の概要及び調査でわかったこと」

<第2部>



福島県立医科大学 混声合唱団「燦(さん)」
子どもたちが興味を持つような仮装姿で登場



歌のお姉さんとピエロ、マジシャン
によるゆかいなクリスマスコンサート

2)エコチルふれあい会の実施

ふれあい会は、エコチル調査参加者親子・参加者同士そして参加者と福島ユニットセンターとがコミュニケーションを持ち、エコチル調査を長期間にわたり協力していただくモチベーションを高めることを目的として、これまで子どもの成長発達段階で重要といわれている時期に合わせて県内全域で平成24年度から実施している。

平成28年度は、5歳児を対象としたふれあい会を新たに企画し開催した。

ふれあい会の対象と内容は表6のとおりである。

表6 ふれあい会の対象と内容

対象	ふれあい会の内容
1.5歳児	①絵本の読み聞かせ ②親子遊び ③親子ミニ運動会 ④小児科医のミニ講話、助産師による子育て相談 ⑤茶話会(ママ同士のふれあい・スタッフとのふれあい・相談など)
3歳児	①親子ダンス(3B体操、キッズダンス) ②親子遊び ③小児科医のミニ講話、助産師による子育て相談 ④茶話会(ママ同士のふれあい・スタッフとのふれあいなど)
5歳児	①親及び親子クッキング ②小児科医のミニ講話 ③子育て相談 など
親子	①音楽ライブ(歌・ギター・ピアノ・弦楽) ②小児科医のミニ講話 ③育児相談など

ふれあい会の実施回数は20回、参加親子組数は計287組であった。(表7)

表7 ふれあい会開催状況

対象児	平成24-27年度(4年間)		平成28年度		計	
	実施回数	参加組数	実施回数	参加組数	実施回数	参加組数
6か月児	40	806	-	-	40	806
1歳半児	27	493	6	89	33	582
3歳児	13	116	8	124	21	240
5歳児	-	-	2	17	2	17
親子	1	24	4	57	5	81

3)ニューズレターの発行

2016年夏号(平成28年7月)及び2016年秋号(平成28年9月)、2016年冬号(平成28年12月)及び2017年春号(平成29年3月)の4回発行した。「エコチル調査でわかったこと」や「エコチルふれあい会」の様子、詳細調査に関すること、「おしえて先生」などの子育てに役立つ情報を提供した。(参加者あて約12,200部、市町村等関係機関あて約600部、計12,800部発送)(「資料3」参照)

4) 協力医療機関及び市町村への活動報告

精神神経発達検査及び医学的検査の協力医療機関・12施設に対して「エコチル★詳細調査★だより」を毎月発行した。詳細調査リクルート進捗状況、地区別同意数、精神神経発達検査及び医学的検査月別検査予定数、詳細調査実施件数、参加者への結果報告書の送付数などについて報告した。(第10号～第21号まで発行)

エコチル★詳細調査★だより
第21号

2017.3

訪問調査地区別実施件数 (2017年2月末現在)
1.5歳訪問調査は完了しました。3歳訪問調査は現在実施中です。

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
3歳	114	104	22	33	4	9	52	338

3歳訪問調査未実施(欠測)数 (2017年2月末現在)

抽出時期	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
第1次抽出	1			1				2
第2次抽出		2	1	1			1	5
第3次抽出		3	1					4
計	1	5	2	2			1	11

取り止め数 (2017年2月末現在)

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
取止数	1	2	2	1	-	1	3	10

参加者への結果報告書の返却数 (2017年2月末現在)
訪問調査での環境測定ではダニアレルゲンも調べていますが、検査の都合で「ダニアレルゲンなし」の結果を参加者に返却しています。
1.5歳のダニアレルゲン測定は3月末で終了できる見通しとなりましたので、参加者へ結果報告書を送付できるよう調整しています。

返却日	環境測定	精神神経発達検査	医学的検査
2015年6月	1.5歳	3歳	2歳
~2017年2月	637 (ダニ以外完了)	280	599
			2歳
			608

精神神経発達検査及び医学的検査の月別検査予定数
参加児が4歳になる誕生日を、地区別にした表です。
諸事情で日程調整が遅れています。ご迷惑をおかけしますが、4月生まれの児の検査は少し遅れますのでよろしくお願いたします。

参加児の誕生日	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
4月	10	6	2	2	-	1	3	24
5月	8	12	1	3	-	2	3	29
6月	19	9	1	6	-	2	2	39

探尿ハットの廃棄のお願い
4歳医学的検査では、探尿が追加されます。自宅で早朝尿を採り、病院まで持参していただきますが、自宅で採れない場合は病院での採取になります。探尿容器に採れないとき、探尿ハットを使用する場合があります。その場合、申し訳ありませんが病院での廃棄をお願いいたします。






探尿容器 探尿ハット 便座を上げて装着 装着後便座を下げる

4歳医学的検査担当曹長研習の情報交換会を開催しました。
開催日：平成29年2月24日(金) 場所：郡山市中央公民館
内容：2歳医学的検査結果および実施報告や2歳医学的検査と4歳医学的検査の相違点について説明させていただきました。4歳医学的検査実施における各施設の課題および福島ユニットセンターへの要望等では、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。




お知らせ
★精神神経発達検査者情報交換会について
平成28年度に第2回目の情報交換会を開催する予定でしたが、諸事情のため年度内の開催はできなくなりましたので新年度の早い時期に開催したいと考えています。
★各施設訪問について
現在、4歳精神神経発達検査・医学的検査のマニュアルを各病院・施設ごとに作成しております。お届けするのが遅くなり大変申し訳ありませんが、3月23日以降に直接持参いたします。



【編集・発行】 福島県立医科大学 エコチル調査 福島ユニットセンター
(福島本部事務所) 〒960-1295 福島市光が丘1番地
TEL 024-547-1449 FAX 024-547-1448
(郡山事務所) 〒963-8024
郡山市朝日3丁目6-4 レジデンス朝日第2ビル2階
TEL 024-983-4780 FAX 024-983-4751
<http://www.ecochil-fukushima.jp/>

エコチル★詳細調査★だより 第21号(平成29年3月発行)

5)市町村主催のイベントへの参加

市町村で主催するイベントのブースに出展し、来場者にエコチル調査の周知及び活動内容や調査でわかったことなどについて広報活動を行った。(表8)

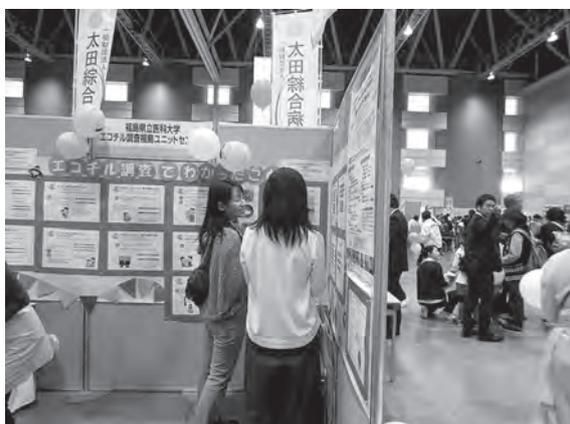
表8 市町村主催イベントへの参加状況

主催市町村名	イベント名	参加日
郡山市	こどもまつり	平成28年5月5日(木)
郡山市	郡山ファミリーフェスタ	平成28年10月23日(日)
会津若松市	会津健康まつり	平成28年10月23日(日)

こどもまつり



郡山ファミリーフェスタ



会津健康まつり



6)グッズの作成等

エコチルハンドタオルを3歳児に、また、エコチル調査5周年に当たり記念品グッズとしてオリジナル反射材キーホルダーを調査参加者全員に贈るなど、今後における調査継続を主たる目的としてノベルティグッズを作成し贈呈した。

また、クリアファイルやティッシュ等をイベントの参加者に配布し広報に努めた。

(8)謝礼支払い(電子マネー)の運用状況

調査参加者への謝礼として当初より金券を送付していたが、平成26年3月から母親への謝礼を電子マネーによる支払いに切り替えた。

1)目的

母親参加者約13,000人に今後13年間にわたって年2回、質問票への謝礼として金券での謝礼支払いを行うことは、人的・時間的な労力を要し、また、簡易書留の郵送費を伴うこととなる。このため、これらの膨大な労力と経費を削減するとともに、金券の紛失等の人的ミスを解消するため、謝礼の支払いを電子マネーに切り替えることとした。

また、平成26年11月から、参加者の5%にあたる637人の方を対象とする詳細調査が開始され、その謝礼においても電子マネーによる支払いとした。

2)適用範囲・対象者

母親参加者を対象とし、謝礼支払いの機会が1回のみ父親及び銀行振込で支払っている医療機関は、対象外とする。

同意書や質問票を回収した母親について、12,105名(平成29年3月末現在)に電子マネーカードを送付し、謝礼をポイントとして付与した。

電子マネーカード



(9)その他研修等

1)RC代行研修

平成28年度は、ユニットセンター職員等14名に対してRC代行研修を入職時に5回実施した。これまで実施した医療機関、市町村、ユニットセンターの職員等に対する研修は、計55回、受講者は計628名となった。

2)他ユニットセンターとの情報交換会

高知、愛知及び宮城の各ユニットセンターを訪問し、情報交換を行った。(表9)

表9 他ユニットセンターとの情報交換会

訪問先	訪問日	訪問職員	情報交換の内容
高知 ユニットセンター	平成28年8月23日(火) ~24日(水)	教員2名 RC職員1名 事務職員1名	フォローアップの取組み及び 詳細調査の実施について
愛知 ユニットセンター	平成29年2月6日(月)	RC職員3名	イベント開催を中心とした フォローアップの取組みについて
宮城 ユニットセンター	平成29年3月17日(金)	RC職員1名 (臨床発達心理士)	精神神経発達検査に係る手 技確認について

3)職員研修

全職員を対象に次の研修を実施した。

○ 平成28年9月

詳細調査の状況、個人情報管理、リスク管理

教養講座「食育を考えよう！」(会津大学短期大学部食物栄養学科 鈴木秀子先生)

○ 平成28年8月

コンプライアンスの遵守

○ 平成28年4月、10月

男女共同参画の推進

○ 平成29年2月

詳細調査の状況、個人情報管理、リスク管理

教養講座「生活と化学物質」(一般社団法人環境情報科学センター 寺沢弘子先生)

4)他主催研修への参加

コアセンター主催のエコチル調査スタッフ研修に積極的に参加した。

(10)学術研究

1)エコチル調査福島ユニットセンター学術ワーキンググループ

学術的情報発信を大学一体となって推進するため、平成27年4月6日に「エコチル調査福島ユニットセンター学術ワーキンググループ」を設置した。

平成28年度は、「エコチル調査福島ユニットセンター学術ワーキンググループ会議」を平成28年12月16日及び平成29年3月8日の2回開催した。

学内の研究者に対し、エコチル調査の概要、追加調査の現状及びデータの学術利用等について説明を行い、周知を図った。

2)中心仮説解析計画検討ワークショップ

エコチル調査における中心仮説に関する成果発表に関して検討を進めるために、コアセンター(国立環境研究所)主催で「中心仮説解析計画検討ワークショップ」が、平成28年12月27日及び平成29年3月23日の2回開催された。

当ユニットセンターからは、8名の教員が積極的に参加し、中心仮説に関する研究計画について討論した。

3)学会発表・論文執筆

①学会発表

- ・平成28年5月13日～15日 第119回日本小児科学会学術集会
福島県におけるエコチル調査の実施状況, 橋本浩一 他
- ・平成28年11月13日～16日 第5回妊娠前・胎生期・小児期における環境と発育・健康環境に関する国際会議
Progress of Japan Environment & Children's Study (JECS) in Fukushima for five years, 橋本浩一 他
- ・平成28年9月2日 平成28年度福島県保健衛生学会(第45回)
小児疫学調査における静脈採血実施状況～福島県における「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」詳細調査から～, 佐藤晶子 他
- ・平成29年1月27日 第27回日本疫学会学術総会
福島県全県下で実施されているエコチル調査詳細調査より2歳児の静脈採血実施状況, 佐藤晶子 他

②論文執筆

- ・「小児疫学調査における2歳児を対象とした採血実施状況 福島県における『子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)』詳細調査から」
佐藤晶子, 福島県保健衛生雑誌, vol.29, P14-18, 2017.3